

ライオン河風景を以て世に著はる。

此帝國は君民同治にして上院と下院とより成れり、其普魯士は歐州強國の一に數へられ、士卒の多き、兵制の嚴なる、人民の鋭敏なる、教育の善美なるは共に最も有名なり。

コロウンはライオン諸邦の大都にして、酒類の賣買盛んなり、府中有名の大寺ありて、建築六百年を経、近年漸く落成すといふ。

和蘭、比耳時、噠抹。和蘭、比耳時の二國は海面より低き處多きを以て沿岸に堤を築き其浸害を防げり、此事を土人、マイクと云ふ、一たび破るるに於ては國民悉く魚腹に葬ひらるゝを以て常に番人を置き、之を守ること甚だ嚴なり、此二國元と一國なりしか中頃又分れて二國となれり。

和蘭は首府をアムステルダムといふ海外に屬地多く其版圖の廣大なること、英國に次ぎ東印度、西印度等は概ね其有なり、外國貿易又盛

○和蘭

○比耳時

○噠抹

○英吉利

んにして我が國にも早くより來りて交易し諸藝を傳へたり。

比耳時は人口の繁きこと本洲第一とす、首府をブルッセルといふ、其南にチウトルロウ村あり、昔佛帝ナポレオン歐洲を震動せしが此地の一戦に敗れて終に絶海孤島の鬼となりし有名の古戰場たり。

噠抹は小國にして半島と島とより成り、グリーンランド、氷洲及び西印度中の小島を領有す、ゼーランド島に首府コッペンハーゲンあり。

英吉利。二大島より成り東の大島を英倫威勒士、蘇格蘭とし、西の大島を愛爾蘭とす。

政體は君民同治にして海外通商の盛大なること世界第一とす、其商船二萬二千餘艘、水夫二十萬人に過ぎ、海軍の盛んなる亦他に比なしとす。

海外屬地甚多く五大洲中之れゐらざるなし其大なるものを北亞米利加のカナダ、アウストラリヤ、タスマニヤ、ニウゼランド、印度、錫蘭

○世界第一の大郡

等とす。

首府をロンドンといふ、ティムス河畔にありて、人口凡四百二十餘萬、世界第一の大都會とす。地下鐵道殊に有名なり、府の東南にグリーンウツナあり、天文臺あり、子午線の基とする國多し。

佛蘭西。本洲の北隅英國と一水を隔つる處にあり、首府を巴里といふ、市民工藝に工みに新奇を競ふ、各國流行の衣服は多くこれより起るといふ。

國民多くは農業に従事し、葡萄酒の製出最も世に高し。

屬國屬島多く、亞非利加にアルゼリアあり、地中海にコルシカ島あり、有名なる「ナポレオン」二世は此島の人なり、其外安南あり、又亞非利加、西印度、ギアナ、印度洋ポリネシア、印度等にも其屬地少なからず。

西班牙及葡萄牙。共に半島を爲して、亞非利加と僅かに海峡を隔つ、之を「ジブラルタル海峡」といふ、内に英國の砲臺ありて、要害無比と稱す。

○西班牙及葡萄牙

英軍常に之を成り事なき時は、兵士岩壁に攀ぢて猿を捕ふるを樂みとす、蓋し本洲中猿の多きは只此地のみなりといふ。

西班牙の首府を「マドリッド」といふ、市街寂寥として一國の都城たるを覺えず、「バアセロナ」港は地中海に臨みて粟を産すること多く、土人其料理に甚だ巧みなりといふ、又養蠶の業盛んなり、國民は男女共に華美を好み、歌舞を好むこと甚しく、良夜郊野に出で、舞踏し以て無上の快樂となすを常とすといふ。

○以太利

葡萄牙の首府をリスボンといふ。
以太利。地中海の半島にして、首府をローマといふ、本洲の歴史上最も著名なる處なり、其王宮政府は勿論、彼天主教の首領たるローマ法王も之に居れり、且つ前代古跡の壯大なるもの古の名畫彫刻の夥しき寺院堂宇の壯麗なる枚舉に遑わらざるも、當時は市街狭小となり、乞食多く旅人に憐みを乞ふて止まずといふ。

フロレンスは名畫名像を以てゼノアは「コロンパス」の出生地を以て共に著はる、又ベニスといふ奇異なる都府あり、市街皆川にして舟を以て車馬に換へ以て往來すといふ。

此國の絹布は本洲第二の産出とせり。

○瑞西

瑞西。本洲中最高の地にして國中皆山なり山間湖水多く風光明眉の勝地に富み、且つ夏時頗る涼しきを以て、他國の人毎年來遊避暑するもの少なからず、稱して歐洲の遊園といふ。

首府をセチパといふ、時計製造最も盛んなり、外國との貿易は重みに獨逸、佛蘭西の二國なりといふ。

○澳大利

澳大利。メノーゾ河國を貫流して水陸の便宜しく農産、鑛産、林産に富む、首府を維也納といふ。

○土耳其

土耳其。境域頗る大にして、亞細亞に跨る首府をコンスタンチノブルといふ。

此國元來、土地廣く地味豊かに農工、商業盛んなりしも、唐政の下に堪ゆること能はずして、民屢叛きしを以て國域次第に減じ國勢從つて振はざるに至れり。

○希臘

希臘。學術技藝に秀で本洲開化の根元たり、首府をアデンド云ふ。

此國アレキサン、ドル王の時には境域本洲亞細亞、亞非利加に跨り勢頗る盛んなりしも、後ローマに滅ぼされ、ローマ亡びて土耳其に屬せり、然れども土耳其の唐政之を甘受すること能はず、遂に七十餘年前奮て獨立するに至りたれども、現今は僅かに海隅の一小國に過ぎざるなり。

○位置及境界

○第三章 亞非利加洲

位置及境界。過半熱帶の下にあるを以て五大洲中第一の暑き土地なり、東は紅海、印度洋に、西は大西洋に面し、南は印度大西二洋の間を分

○地勢

ちて南冰洋に臨み、北は地中海に接す。

地勢。本洲は廣濶たる平原にして山岳は只其周邊を連亘するに過ぎず、且つ蠻夷なるを以て内地の形勢今に至るも充分探ること能はず、歌洲人屢千辛萬苦して其目的を果すこと能はず死せしもの多しとす、抑も内地に入るは實に危険極まり異草繁りて道路なく惡疫を起し易く、土人の爲めに食料に供せられ、或は猛獸毒蛇の餌食となる等の恐れあるを以て容易に其探險は出來得可からざるなり。

○沙漠

沙漠。北方にあるをサハラといふ、世界第一の大沙漠なり、南方にあるをカラハリといふ。

○河

河湖。東北にナイル河あり、本洲第一の大川とす、其他南にザンベジ河、ナレンゴ河あり、西にニゼル河、コンゴ河あり。

○湖

ビクトリアニヤンザ湖はナイル河源にして本洲第一の大湖なり。

○動物

動物。象、虎、豹、獅子、鱷魚、班驢、麒麟、駝鳥、其他珍禽奇獸に乏しからず、而し

○埃及

て本洲の人口は凡そ二億餘萬ありといふ。
埃及。政體は君主專制にして兵制文物總て歐州に倣ひ見るべきもの少なからず、此國は本洲第一の古國にして往古は富強の一大帝國なりしも、後亡びて他國に屬し、現時土耳其の所有たり、都府をカイロトイふ本洲第一の大都とす。

新舊の二大工事最も著はる、ピラミットは即ち古昔の大工事にしてナイル河畔にあり、高さ數十丈石を以て尖方に疊み天下の奇觀なり、エエス運河は其新工事にして亞細亞と連絡せし土地を開鑿したるものなり。

○奴比亞

奴比亞。ナイル河の上流にありて埃及の屬國なり。

○亞比尼亞

亞比尼亞。奴比亞の南にあり、民皆勇悍、愚蒙通商のそとを知らず、牧畜を以て生活す。

○巴巴黎

巴巴黎諸國。モロッコ、アルゼリヤ、トニス、トリポリ、バアカ五國の總稱

附編萬國誌

○中央亞
非利加

○西部亞
非利加

○南部亞
非利加

○東部亞
非利加

にして、相並び地中海の南岸埃及の西にあり。

中央亞非利加。炎熱甚しきも山あり川あり雨時に降りて土地肥沃なり其が爲めにや土人の生活は稍人間に近しとす。

西部亞非利加。セネガンビヤ、リベリヤ、上ギネヤ、下ギネイ四地の總稱にして、セネガンビヤは英佛葡三國の殖民地なり、多く椰子油を産出す、英人石鹼を製するの用に供せり、リベリヤは黒人の共和國にして、上ギネヤは民常に争鬪を事とし往々女隊をも見受くといふ、下ギネイは重みに葡國に屬せり。

土人は勇悍殘忍にして人を啖ひ人肉を屠りて市に鬻ぐもの多く且つ奴隸の賣買甚だ盛んなり。

南部亞非利加。概ね英國に屬せり、其西南端は有名なる喜望峯にして四方の景色畫くが如しといふ。

東部亞非利加。印度洋に臨める東岸の地にしてツマリ、ザンボイバル、

○本洲島
嶼

モザンビクの三國より成る甲は埃及に、乙は亞拉比亞に屬し、丙は葡萄牙の殖民地なり。

本洲島嶼。最大なるものをマタカスカル島とす、モザンビク海峡を隔て、東方にあり、首府をマナ、リボといふ、君主專制にして民殘忍なり。

此外小なれども有名なるものはセントヘレナ島なり、ナボレチン一世の流されし處にして英領なり。

カナリヤ島はカナリヤ島の本國にして西班牙に屬す、アツル、マデイラの二島は葡萄牙に屬せり。

○第四章 亞米利加洲

○新舊世界

新舊世界。亞細亞、歐羅巴、亞非利加の三大洲を舊世界といふ、今より四百年前の昔は人皆見聞狭く世界は此の三大洲より外になきものと

のみ思ひしに、其頃西班牙の「コロンパス」と云ふもの出で、西方別に大地即ち此亞米利加洲あるを發見せしより人智大に改まり遂に之を新世界と稱するに至れり。

○位置及境界

位置及境界。西半球にありてパナマ地峽により自然に南北の二に分れ北を北亞米利加、南を南亞米利加とす、東は大西洋西は太平洋に面し、北は北氷洋に至り南は南氷洋に達す。

○海岸

海岸。北亞北亞米利加以下之に倣ふは海岸の出入多く東方最も甚しく南亞同前は之に反し出入殆んど稀なり。メキシコ灣は北亞にあり、本洲第一の大灣にして其他ホドソン灣、バフィン灣、セントラウレンス灣、カリホルニヤ灣等又北亞にあり。ベーリング海峽は西北端亞細亞と接する處にして南端にマゼラン海峽あり。

半島は北亞にのみあり、西北隅にはアラスカ、東にはラブラドルの半

島ありて共に大なり、南にはフロリダ、ユカタリの二半島ありてメキシコ灣を抱き、西にはカリホルニヤ半島ありてカリホルニヤ灣を抱く。

○島嶼

島嶼。西印度諸島はメキシコ灣の東南にあり、其數一千餘其内大なるものをバハマ、ジャマイカ、ヘイチ等とす。

此諸島中にサンサルバドル島あり、コロンパス初めて陸地を發見せし所とす、初め「コロンパス」此地に来るや方位を誤まり印度の地なりと思ひしより、終に土人を呼びて印度人といひ、島を印度諸島と呼びしが後に其誤りを知り、西の一字を冠らせて西印度とし以て東印度と別てり。

其他ニウハウンドランド島はセントラウレンス灣の東にあり、クリンランド島又大に、其南端に至りては僅かに二三の小島あるのみなり。

地勢 北亞米利加はロッキーマウンテン山脈アラスカ半島の東より起りてメキシコ灣の西に至る、山脈の西は總て高地なり。

此山脈とアレガニー山脈との間は平野にして北海より遠くメキシコ灣に至る、平野の間に僅かの高地ありて河水を南北に分てり、故に河水の南にあるものは南流し北にあるものは北流す。

ミシシッピ河は南流の諸川を合して、メキシコ灣に入る、長さ一千六百哩、世界第一の大河とす。

其他チルソン河、マツケンヨイ河は共に北流し、コロラド河、ユコン河、コロンビヤ河は共にロッキーマウンテン山の西にあり。

南亞米利加はアンデス山脈、パナマ地峽より起り、西岸を傳ふて南端に終る、東方又諸山脈あり、山脈の近傍概ね皆高原にして其間に平野あり川流あり。

北方にナリノコ河、中央東流にアマゾン河、南方にラプラマ河ありて

南亞の三大河とす。

ナリノコ河畔の地をリヤノスといふ、乾節には河水涸れ草木枯るゝも、雨節には草木繁茂、河水清流、牛馬群遊して俄かに別世界と爲るといふ。

アマゾンの下流、沿岸の地をシルバスといふ、巨大の草木茂り猿猴群をなす、其他禽獸の夥しきこと、幾百萬なるを知らず、且つ人跡絶えてなしといふ。

ラプラマ河畔をパンパスといふ、草多く幾萬の牛馬群集せるを以て土人は長繩を以て之を捕獲せり。

人口南北南亞を合して九千萬に過ぎず、此洲は鳥獸の奇なるもの多し、野獸には木虎あり、獅牛あり、リヤマあり、美毛のアルバカあり、尾長猿、七面鳥等あり、鳥には蜂鳥あり、毛羽最も美にして体長一時世界最小の鳥とす。

○合衆國

○北亞米利加洲

合衆國。北亞の中央に位し三十八州同盟の共和國にして、人口五千萬、南北兩亞の人口の過半を占むれども國の大なるに比しては未だ多しとせず、地味肥沃に、人民業を屬み、國富強に、文學技藝進歩して歐洲と文明を競ふは西半球に於て此國のみなり、首府をワシントンといふ大統領茲に居る。

ニウヨルク府は第一の都會にして人口百二十萬、通商貿易の最も盛んなる處なり、ヒラデルヒヤ府は、此國の英領たりしを西洋紀元一千七百七十六年六月四日に終に其羈絆を脱して獨立を天下に公布せし有名な地なり、ボストン府は貿易の繁盛ニニューヨークに亞ぎ、シカゴ府はミシガン湖に臨み、湖邊ナイヤガラ大瀑布あり、世界第一とす、サンフランシスコは西岸にありて西岸第一の良港とし、カルホルニヤは金礦を以て其名天下に轟く。

○世界第一の瀑布

○加拿大

加拿大。合衆國の北にありて過半は英領なり、首府をオッタワといひ

良港をバンクウバアといふ。

○墨西哥

墨西哥。合衆國の南にある高原地にして火山多し、首府をメキシコといひ

港をアカプルコといふ。

銀礦多くして有名なり、天下各國の通貨の半は是の銀なりと。

此國の氣候は實に各國各地を兼備せりといふべし、即ち高山は寒氣に堪えず、高原は温涼、海岸低地は炎熱甚しく且つ濕氣多し、又高原の内、南北に別れ北は乾燥にして草木なく南は降雨ありて草木繁茂す。中亞米利加。北亞の南端南亞に接するの國にして西北はテファンテペック地峽を以てメキシコに隣り火山多く地震烈し。

○中亞米利加

○南亞米利加洲

南亞米利加洲。南亞の北端にありて首府をボゴタといふ樹膠(シンコナ)の木皮を多く産す、此皮より幾那を製し強壯解熱の妙藥たり。

○哥倫比亞

此國の盛んなるは、全くパナマ地峽のあるに依る、東西通商の要路にして各國の船舶は地峽の左右に輻輳し、中間鐵道を以て貨物を運搬せり、又近年地峽開鑿の工事に従事すといへば成功の曉は猶は一層の繁榮を來すならん。

○委内瑞拉
○厄瓜多

委内瑞拉。哥倫比亞の東にありて首府をカラカスといふ。
厄瓜多。哥倫比亞の南にありて恰も赤道直下に當れり、首府をキトウといふ。

○巴西

巴西。土地廣く南亞の半を占む、首都をオシャチイロといふ、人口三十三萬、南亞第一の大都とす、而して南北兩洲に於て帝國と稱するは、只此一國のみなり。
茄菲を産出すること夥しく世界飲料のもの概ね此國の産なりといふ。

地味又肥沃にして米人の説にもアマゾン河畔を開拓して耕作の地

となせば、滿天下其穀食ふも、尙は餘りあらんと、然れども人口少なくて開墾遍からず惜い哉。

○貴亞拿

貴亞拿。英、佛及び和蘭三國の領地なり。
白露。金山に富み其採量尠ならず、且貿易品として有名なるものは

○白露

周歲雨なき海濱及び小島より得る處の鳥糞と硝石とにあり。

○玻利非亞及智利

玻利非亞及智利。甲は通商振はず首府をスクレといふ、乙は狹長なる國にして京城をサンチャゴと云ふ。

○亞然多同盟國

亞然多同盟國。通商教育共に盛んなること南亞中に比なし、都城をブエノスアイレスといふ。

○巴拉圭及烏拉圭

巴拉圭及烏拉圭。共に小國にして巴拉圭の首府をアスンシヨンと云ひ、烏拉圭の都府をモンテビデオと云ふ。

○第五章 大洋洲

○大洋洲
の位置
○同風俗

○同區別

○東印度
諸島

位置。東半球の東南にある大小數千の島をいふ。

風俗。多くは無智の野蠻に屬し、裸體文身にして文字禮義を知るもの
少なく常に漁獵と戦闘とを事とせり。

區別。東印度諸島、メラネシア、アウストラリアシア、ポリネシアの四區
とす。

東印度諸島。安南、暹羅の南海にありてポルネチ、スマタラ最大島にし
てジャワ、セベレス島之に次ぐ共に和蘭の領地たり。
ヒリッピン諸島は最北にありて西班牙に屬し其大なる島を呂宋と
いふ都をマニラといふ。

諸島の人口二千七百萬本洲中の五分の四を占む、土人勇悍にして稍
半開の域に進めり。

○メラネ
シア

メラネシア。大島をバプアといふ土人を「バプアン」と稱し黒面縮毛の
野蠻にして風俗頑凶喜んで人肉を喰ふ。

○アウス
トラリア
シア

此島より極樂島といふ美麗なる一種有名の鳥を産す。

アウストラリアシア。アウスタラリヤ、タスマニア、ニウゼエランドの
總稱にしてアウスタラリヤは本洲最大の島なり全島英領たり。

金を産出すること夥しく、シベリアの金山とカリホルニアの金山と
並びて世界の三大金山と稱せらる。

都會の大なるものをメルボルンと云ふ、金塊の産出盛んなり、次をシ
ドニーといふ羊毛輸出の大市場とす、二市共に我が邦の正南に當り
同時に晝をなし同時に夜をなせども寒暖は全く相反せり。

鳥獸の奇なるものを産せり、即ち袋鼠、鴨嘴、アブデリツキス鳥等あり。
ポリネシア。太平洋の熱帯中に散布せる細小の島嶼より成る島中に
珊瑚島とて珊瑚を以て環狀の島を成し内に海水を貯へ二三の口門
ありて船舶並より出入す。

○ポリネ
シア

サンドウィッチは即ち布哇國にして、大に開けポリネシア中の要地た

り、君民同治にして首府をホノル、といふ我が邦人毎歲此に出稼す。
でかき

○條約國勢一覽表

國名	國政	面積	人口	歲出	歲入
亞米利加合衆國	共和	五八七九五八	六二八三、一八二七	四四、九九〇二	四八、二九一三
魯西亞國	帝	三五二八七八	九五八七、〇八一〇	四九、五四一〇	五四、七三三八
和蘭國	帝	二二三四	四四六、四五六五	七、〇〇四一	六、四三三三
英吉利國	帝	二〇三九九	三七八八、八一五三	五四、〇四三四	五五、一二五三
日耳曼國	帝	三三〇五一	四九四、一六四七六	三二、八八二四	三二、四〇三三
佛蘭西國	共和	三三三七一	三八三四、三二九二	九〇、七〇八〇	七五、四九四八
瑞西國	共和	二六八三	二九二、七七五四	一、九八八四	一、六五六〇
葡萄牙國	帝	五七一六	四七〇、八一七八	六、一〇〇六	五、八三六八
伊太利國	帝	一、九二二二	三〇一五、八四〇八	四三、五二二六	四二、九〇三〇

國名	國政	面積	人口	歲出	歲入
丁抹國	帝	二五六七	二一八、五二五九	二、〇四〇二	一、九二九三
瑞典國	王	二八七一	四七八、四六七五	三、三九五二	三、三三三三
諾威國	王	二〇九〇	一九九、九二七六	一、七二五五	一、七二五五
埃太利國	帝	四、〇五五九	四、二二二、三三三二	四六、四九九三	四八、八二七六
西班牙國	帝	三三三一九三	一七五五、〇二四六	一九、〇三四八	一九、三三三三
布哇國	王	一一一五	八、〇五七八	三、〇四四九	三、三三四
白露國	共和	七、七八七四	二六二、一八四四	六、二五六	七、一六六
暹羅國	王	四、一九七九	六〇〇、〇〇〇		
清國	帝	七〇、八三五六	四〇二六八、〇〇〇		一、四八八四
墨西哥國	共和	二、三八七九六	六六〇、〇〇〇〇	三、八三七七	四、一五五〇
朝鮮國	王	一、三七六九	一〇五二、八九三七		

(注意) 面積は一位を一方哩とし人口は一人を歲出歲入は千圓を以て一位とす

帝國小地理終

明治廿六年九月七日印刷

明治廿六年九月十五日發行

定價金貳拾錢

版權所有

賣捌所

三盛館

著者兼

印刷者

印刷所

東京市神田區中猿樂町十七番地

岡野英太郎

同 京橋區弓町二十三番地

橘磯吉

同 京橋區弓町二十四番地

三協舍

同 京橋區西紺屋町

特別大賣所

東京同同同同

小松目大上

村川黑倉田

孫寅支書 孫寅支書

吉松店

東京同同同同

水出中三岡

野雲西省 野雲西省

寺書 寺書

店



